

肉用牛農家の飼養管理改善に向けた取組支援：岡山
県美作県民局農畜産物生産課畜産第一班 長尾 薫
乃

なぎビーフを生産する肉用牛農家は、R2年度に畜産クラスター事業による施設整備を実施し、関係機関の支援により計画を推進し、生産規模を拡大。R3年度の経営診断結果で、子牛の事故に起因する出荷頭数の減少が判明。健康な子牛を安定生産し、出荷頭数の増加や肥育成績の向上につなげるため、子牛の哺育育成技術改善に向けた取組支援として定期的な体測と農家ミーティングを実施。体測データ等から発育不良牛が散見され、特に哺育期の子牛は交雑牛と和牛が混在して過密に飼養されていたため、和牛子牛では採食量が少なく、様々な疾病がまん延しやすい傾向にある。下痢対策として哺乳ロボットの点検・飼料の見直し、感染症対策として子牛のワクチン接種や飼養密度の低減等の改善策を実行。今後は母牛のワクチン接種等に取り組み、生産性向上を目指す。管内の肉用牛農家においても経営診断により現状を見える化し、飼養管理改善の取組を支援していく。